

**シンポジウム「故郷・伊予の地域情報化の行先」
～ 21世紀の「坂の上の雲」を目指して～**

シンポジウム及び“伊予の地域情報化を考える会”趣旨

都築 伸二, 愛媛大学工学部電気電子工学科

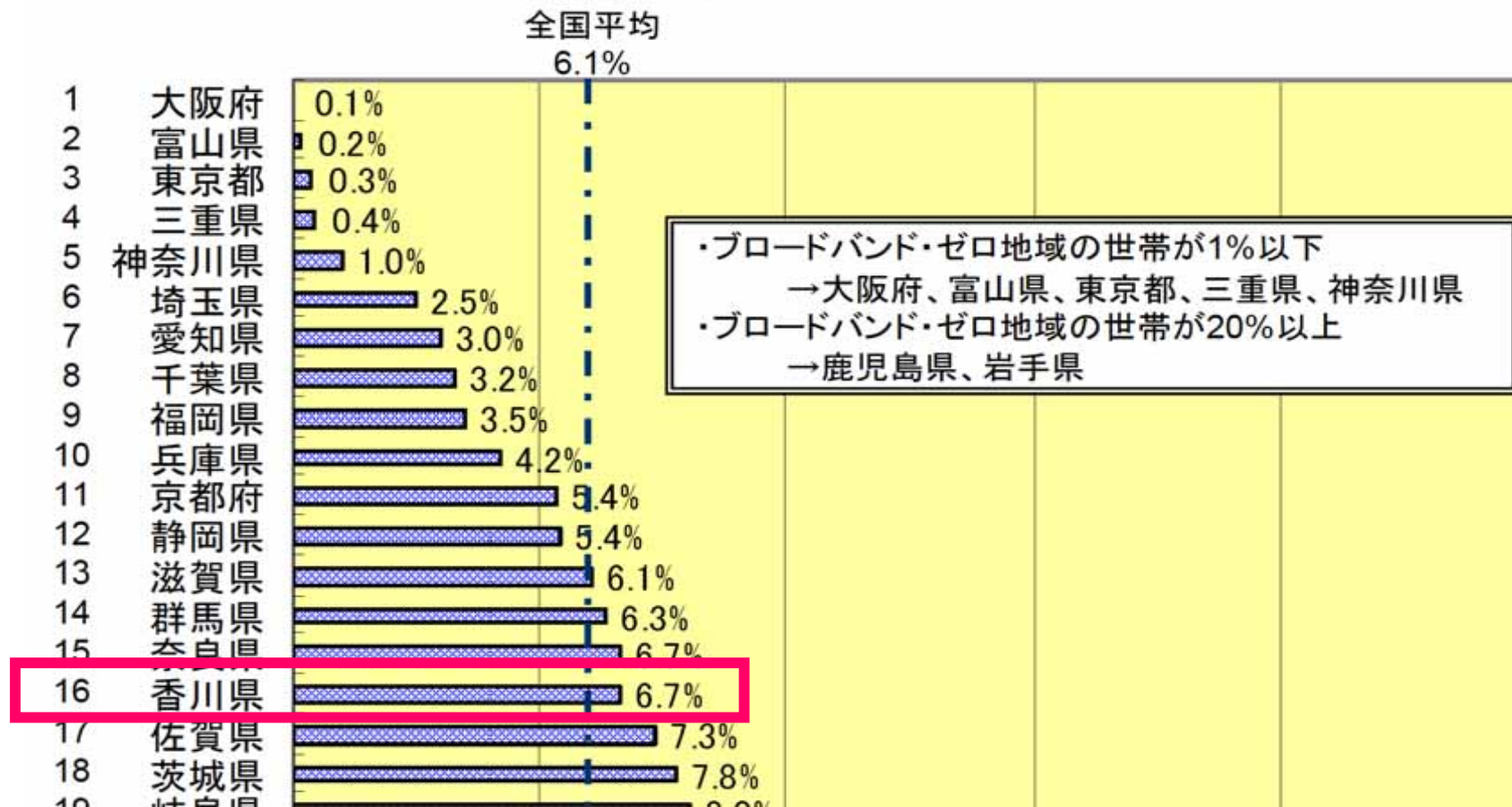
tsuzuki@ee.ehime-u.ac.jp

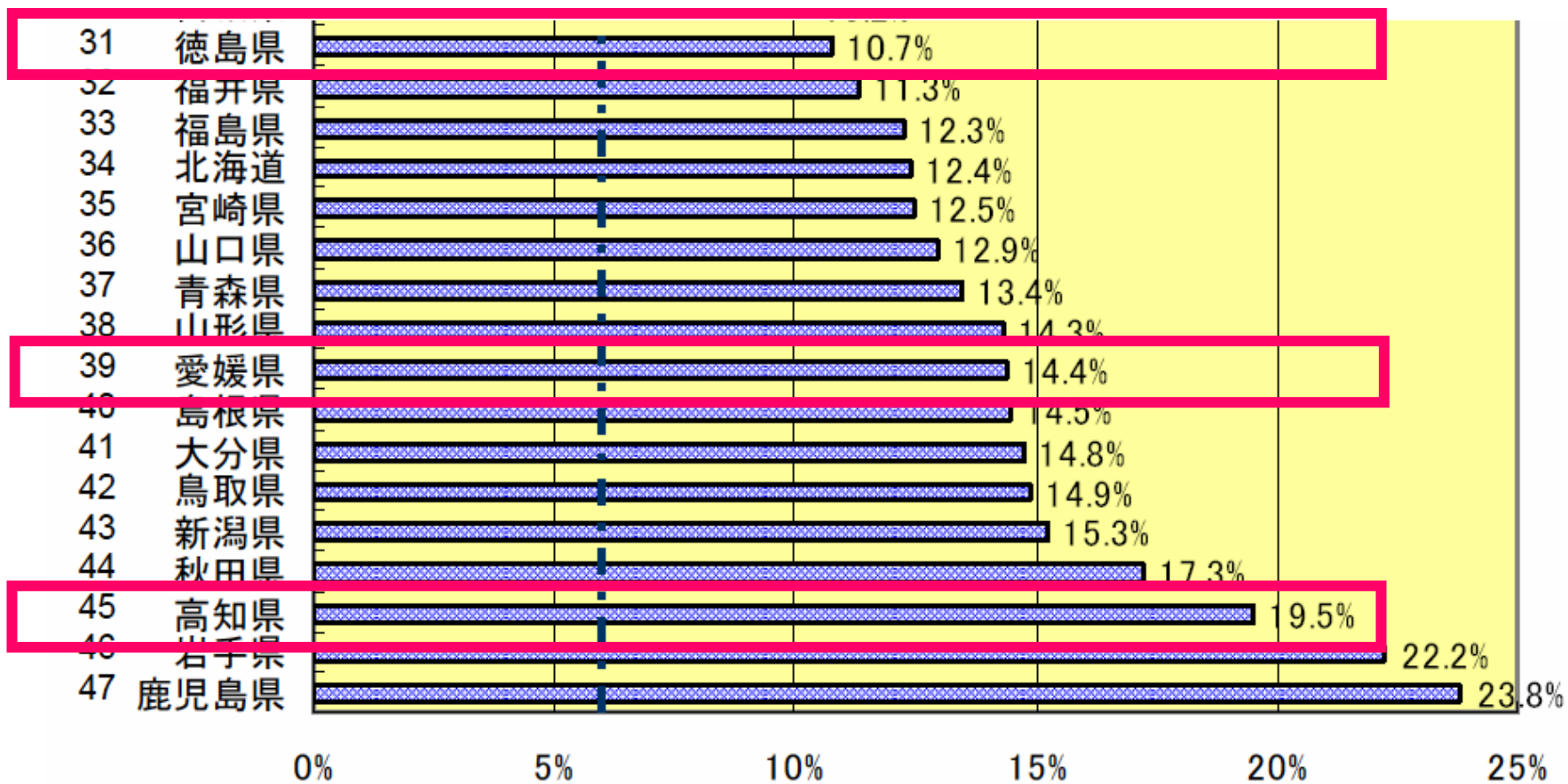
<http://miyabi.ee.ehime-u.ac.jp/~tsuzuki>

総務省: 2010年度へ向けたブロードバンドの整備の在り方「次世代ブロードバンド戦略2010(案)」

ブロードバンド・ゼロ地域の世帯比率
【都道府県別】(平成18年3月末)

別添





ロードマップ・戦略は示されているが、戦術はなし

今後のブロードバンド整備の在り方 ① 基本的な考え方

1. ブロードバンド整備における原則

- **民間主導原則と国による公正競争の確保・投資インセンティブの付与、技術中立性の確保**
⇒ブロードバンド整備は、原則民間主導の下、国において適切な競争政策、投資インセンティブの付与を行うことにより促進

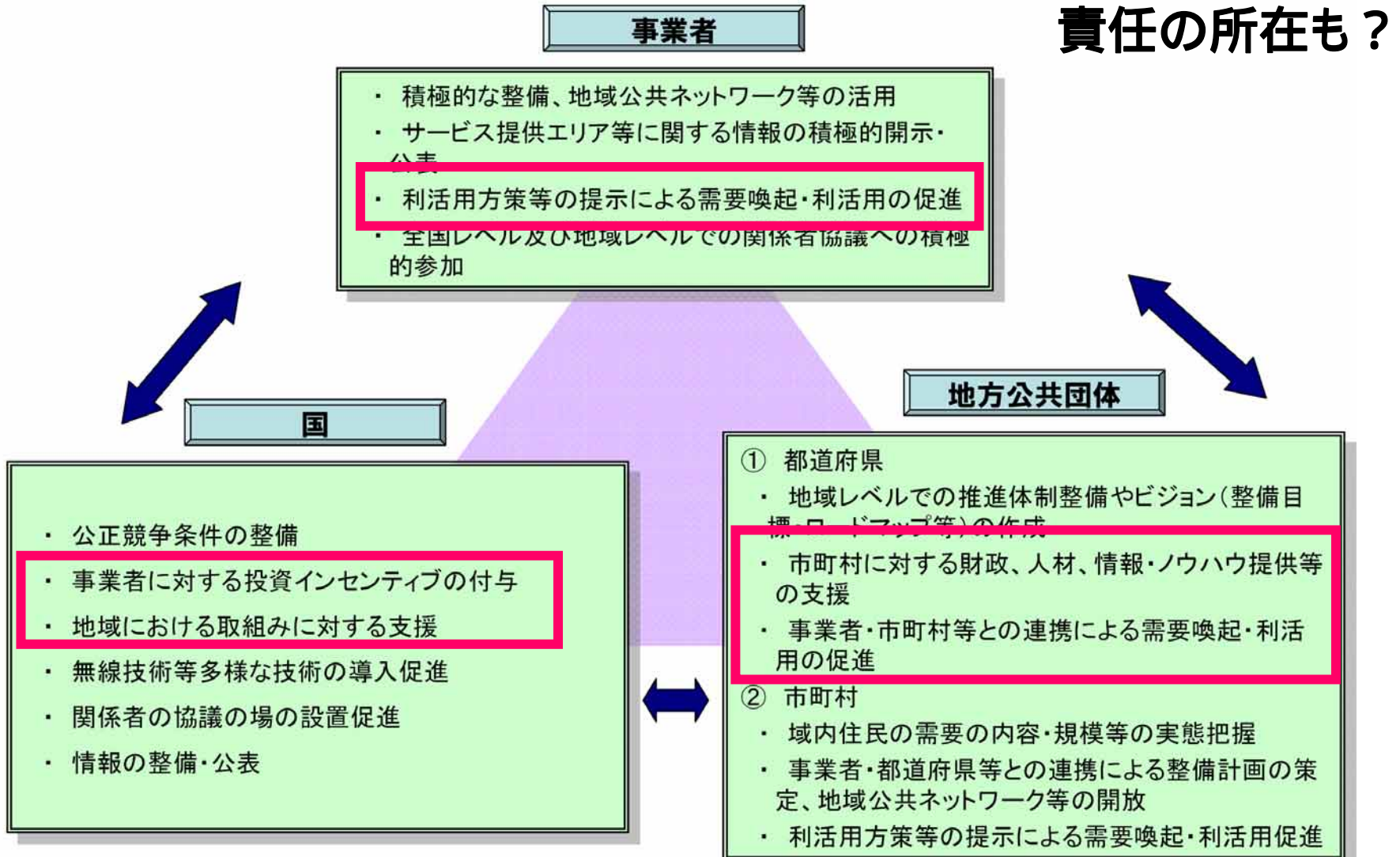
2. 条件不利地域等投資効率の悪い地域における整備

- (1) **関係者の連携と推進体制の構築によるロードマップに沿った整備**
⇒条件不利地域等においては、事業者・国・都道府県・市町村・地域住民等の関係者が連携し、適切な役割を果たすことが必要
全国レベル及び地域レベルにおいて、関係者の協議の場・推進体制を積極的に設置し、ロードマップを作成
- (2) **地域のニーズ等に応じた多様な技術が利用できる環境の整備**
⇒条件不利地域等においては、投資効率を勘案し、ニーズや実情に応じた適切な技術の利用環境整備を図る
- (3) **自治体光ファイバ網の開放等による効率的な整備の推進**
⇒① 地方公共団体が自己設置する光ファイバ網の民間開放
② 無線によるワイヤレス・ブロードバンド技術等の導入を積極的に促進

3. 積極的な需要喚起・利活用の促進

ブロードバンドの効用や利活用方策をイベント等の機会を捉えて継続的に利用者に提示するなど、**関係者は周知啓発活動やアプリケーション開発等による需要喚起や利活用の促進に積極的に取り組むことが望ましい。**

ロードマップ(戦略)は示されているが、戦術はなし



伊予の地域情報化を考える会

1. 愛媛における地域情報化を推進するための人的ネットワーク作り
2. 愛媛における地域情報化の推進・定着に向けた啓蒙活動の実施
3. その他、本会が必要と認めた活動

発起人氏名

- 林 英輔(麗澤大学国際経済学部 教授)
- 安東孝二(東京大学情報基盤センター 助手)
 - 共 催:CTCアカデミックユーザーアソシエーション(CAUA)
- 渡部英綱(データベース『知恵の輪』(前 松山市立中学校校長))
- 白石成人(株式会社愛媛CATV 取締役営業部長)
- 中村康則(エフエーシステムエンジニアリング株式会社 代表取締役)
- 都築伸二

自治体側の努力に加え地域コミュニティの理解と協調が不可欠